

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成22年11月30日

香川県人事委員会委員長 桑 城 秀 樹

### 香川県人事委員会規則第16号

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

期末手当及び勤勉手当に関する規則（昭和38年香川県人事委員会規則第20号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第14条 略</p> <p>(1) 勤務成績が特に優秀な職員 <u>100分の81以上100分の130</u>以下（第5条の2に規定する管理又は監督の地位にある職員（以下「特定管理職員」という。）にあっては、<u>100分の107以上100分の170</u>以下）</p> <p>(2) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の71.5以上100分の81</u>未満（特定管理職員にあっては、<u>100分の94.5以上100分の107</u>未満）</p> <p>(3) 勤務成績が良好な職員 <u>100分の62</u>（特定管理職員にあっては、<u>100分の82</u>）</p> <p>(4) 勤務成績が良好でない職員 <u>100分の62</u>未満（特定管理職員にあっては、<u>100分の82</u>未満）</p> <p>2 略</p> <p>第15条 略</p> <p>(1) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の30</u>超（特定管理職員にあっては、</p>	<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第14条 給与条例第4条第12項に規定する再任用職員（以下「再任用職員」という。）以外の職員の成績率は、当該職員の職務について監督する地位にある者による勤務成績の証明に基づき、当該職員が次の各号に掲げる職員の区分のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める割合の範囲内において、任命権者が定めるものとする。ただし、任命権者は、その所属の給与条例第14条の8第1項の職員が著しく少数であること等の事情により、第1号及び第2号に定める成績率によることが著しく困難であると認める場合には、あらかじめ人事委員会と協議して、別段の取扱いをすることができる。</p> <p>(1) 勤務成績が特に優秀な職員 <u>100分の87以上100分の140</u>以下（第5条の2に規定する管理又は監督の地位にある職員（以下「特定管理職員」という。）にあっては、<u>100分の113以上100分の180</u>以下）</p> <p>(2) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の77以上100分の87</u>未満（特定管理職員にあっては、<u>100分の100以上100分の113</u>未満）</p> <p>(3) 勤務成績が良好な職員 <u>100分の67</u>（特定管理職員にあっては、<u>100分の87</u>）</p> <p>(4) 勤務成績が良好でない職員 <u>100分の67</u>未満（特定管理職員にあっては、<u>100分の87</u>未満）</p> <p>2 略</p> <p>第15条 再任用職員の成績率は、当該職員の職務について監督する地位にある者による勤務成績の証明に基づき、当該職員が次の各号に掲げる職員の区分のいずれに該当するかに応じ、当該各号に定める割合の範囲内において、任命権者が定めるものとする。</p> <p>(1) 勤務成績が優秀な職員 <u>100分の35</u>超（特定管理職員にあっては、</p>

100分の40超)

(2) 勤務成績が良好な職員 100分の30 (特定管理職員にあつては、100分の40)

(3) 勤務成績が良好でない職員 100分の30未満 (特定管理職員にあつては、100分の40未満)

2 略

100分の45超)

(2) 勤務成績が良好な職員 100分の35 (特定管理職員にあつては、100分の45)

(3) 勤務成績が良好でない職員 100分の35未満 (特定管理職員にあつては、100分の45未満)

2 略

#### 附 則

この規則は、平成22年12月1日から施行する。